

科目名	生涯教育学特論 (Advanced Study of Lifelong Education for Professional)	科目コード	106
単位数 (時間)	2単位 (30時間)	選択区分	選択
担当者	野本百合子・仲渡江美		
授業概要	<p>成人への生涯教育の基盤となる「成人教育学 (Andragogy)」や専門職者への教育に関する知識を教授する。また、職場の人材育成や学生指導のあり方を「成人教育学」や専門職教育の知識を活用し、教育的実践を提案、討議する機会を提供する。〔野本担当〕</p> <p>青年期以降の発達段階や発達課題、学習過程について、具体的かつ体系的に理解することを目指す。また、人間の学習行動とワークコミットメントとの関係、キャリア発達とメンタルヘルスについて、ディスカッションを交えながら展開し、理解を深める学びにつなげていく。〔仲渡担当〕</p>		
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「成人教育学」とその対象者の特徴を述べる。 2. 従来の「教育学」と「成人教育学」の相違点を述べる。 3. 1.2. の学習成果に基づき、成人及び専門職への教育について自らの意見を述べる。 4. 青年期以降の発達的特徴と、学習の仕方について文献を通して学ぶ。 5. ワークライフバランスや職業人としての精神的健康のあり方について、自らの考えを述べることができる。 		

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者	
1	「成人教育学」の理解	「成人教育学」とは何か 一その対象と方法	野本百合子	
2		専門職者への教育 一専門職の特徴と人材育成		
3	「成人教育学」の関連文献 講読	Malcolm S. Knowles 著「成人教育の現代的実践」の講読 —プレゼンテーションと討議	野本百合子	
4		専門職者への教育に関する文献講読 一所属組織等での教育を考える		
5	専門職者への教育	専門職者への教育に関する文献講読 一所属組織等での教育を考える	仲渡江美	
6		専門職者への教育		
7	まとめ	成人への教育の現状分析と改善策の検討 まとめ		
8	人間の発達と学習	発達理論の概観		
9		発達理論の概観		
10	青年期・成人期・老年期の 発達と学習の特徴	発達心理学研究における論文の講読および発表を通して、 青年期以降の発達と学習の特徴をつかむ		
11		発達と学習の特徴		
12	学習観の変遷	学習心理学・認知心理学・状況的学習理論・協同学習の立場 から人間の学習過程について学ぶ		
13	学習を支えるメカニズム	自己効力感・メタ認知の事例から学ぶ		
14	職場の中での学習	ワークコミットメント理論について		
15		キャリア発達・職業教育とジェンダー・セクシャリティ		
成績評価方法		課題レポート 50%、プレゼンテーション 50%で評価		
必携あるいは 参考図書・文献		<p>必携図書</p> <ul style="list-style-type: none"> • Malcolm S. Knowles (堀薰夫他) : 成人教育の現代的実践—ペダゴジーからアンドラゴジーへ、鳳書房 <p>参考文献</p> <ul style="list-style-type: none"> • Malcolm S. Knowles : The Adult Learner, 7th Ed.: The Definitive Classic in Adult Education and Human Resource Development, Butterworth-Heinemann 		
備 考				